



2022年ラクロス女子日本代表活動報告会

①参加メンバー紹介

②結果報告

《取り組み概要》

③チーム概要

④オフェンス概要

⑤ディフェンス概要

⑥トークセッション

※ラクロスの戦術やスキル面の詳しい内容などは本日の報告を踏まえて改めてコーチ陣より共有会を開催させていただく予定です。

参加メンバー紹介



しゅん

GENERAL MANAGER
HEAD COACH
**YOKO
SHIBATA**



あすか

ASSISTANT COACH
**ASUKA
MIYAZAWA**



ぼんど

ぱなっぷ

あい

ATTACK
**MAYA
TAGA**



MIDFIELD
**RISA
SUZUKI**



DEFENSE
**AI
HIROSE**



結果報告

結果報告①



2022 World Lacrosse Women's World Championships

目標：4強を脅かす5位

結果：30か国中**5位**

(2005年大会以来17年ぶり・
世界大会史上最高順位タイ)

期間：2022年6月30日～7月9日
(※2021年より延期)

開催地：アメリカ合衆国メリーランド州
タウソン大学



結果報告②（予選リーグ結果）



June



Jun 30 (Thu) FINAL
VS HAUDENOSAUNEE *

W, 13-8

@ Towson,
Md.
ESPN+ - Pool
E

[Box Score](#)

July



Jul 01 (Fri) FINAL
VS ARGENTINA *

W, 25-3

@ Towson,
Md.
ESPN+ - Pool
E

[Box Score](#)



Jul 02 (Sat) FINAL
VS CHINA *

W, 19-1

@ Towson,
MD
ESPN+ - Pool
E

[Box Score](#)



Jul 04 (Mon) FINAL
VS SWITZERLAND *

W, 21-1

@ Towson,
Md.
ESPN+ - Pool
E

[Box Score](#)

結果報告③（決勝リーグ結果）



Jul 05 (Tue) FINAL
VS NEW ZEALAND

W, 12-3

@ Towson, MD
ESPN+ - Championship Bracket
1st round

ベスト16

[Box Score](#)



Jul 06 (Wed) FINAL
VS UNITED STATES

L, 18-3

@ Towson, MD
ESPN+ - Championship
Quarterfinal

ベスト8

[Box Score](#)



Jul 08 (Fri) FINAL
VS HAUDENOSAUNEE

W, 12-6

@ Towson, Md.
ESPN+ - Championship Bracket
Consolation

5位進出決定戦

[Box Score](#)



Jul 09 (Sat) FINAL
VS ISRAEL

W, 13-4

@ Towson
University
ESPN+ - 5th place
game

5位決定戦

[Box Score](#)

結果報告④ (STATS)



Team Stats

STATISTICS	OVERALL		CONF	
Games	8	1st	4	14th
Goals	118	2nd	78	1st
Assists	59	2nd	40	2nd
Goals-per game	14.75	2nd	19.50	1st
Shots	215	2nd	148	1st
Shots-per game	26.88	28th	37.00	29th
Shooting percentage	54.9	1st	52.7	5th
Shots on goal	165	2nd	111	1st
Shots on goal percentage	76.7	4th	75.0	11th
Free position goals-shots	17-26	23rd	11-19	24th
Free position percentage	65.4	30th	57.9	22nd
Ground balls	108	5th	54	8th
Draw controls	106	3rd	69	1st
Draw controls per game	13.25	3rd	17.25	1st
Turnovers	54	27th	20	29th
Caused turnovers	40	1st	20	5th
Clears	82-88	25th	41-42	26th
Goals against	44	2nd	13	2nd
Goals-against average	5.50	2nd	3.25	1st
Saves	26	29th	12	28th
Save percentage	37.1	21st	48.0	8th

- ・大会を通じて30か国中1位の項目が2つ（シュート率54.9%、CTO40回）

- ・USA戦を除く全試合において、12得点以上・8失点以内・5点差以上で勝利。一方で、USAとの対戦では3点しか奪えず王者との大きな差を痛感。

- ・目標としていた「4強を脅かす5位」に関しては、4位のオーストラリアとやる機会がなかったためはっきりとは言えないが、少なくとも銅メダルを獲得したイングランドとはまだ一定の差があるように感じた。次回はメダル獲得を狙える位置での大会になるので、打倒イングランドへ向けてまた一つ大きく進化する必要がある。

取り組み概要

2020年にコロナの世界的な広がりとはほぼ時を同じくして始動した日本代表において、例年とは異なる活動環境や制限を踏まえて、特にチームとして大切にしてきたことが2つある。

①CLIMBERS

- ・「逆境を跳ね返せる集団になる」という想いを込めた日本代表のチームスローガン。
- ・レジリエンス心理学の考え方を重視

②主体性

- ・チームの誰が抜けても、残されたメンバーが歩みを止めることなく進み続けられるよう、選手一人ひとりの主体性を重んじて活動
- ・コーチだけでなく選手の幹部陣と対等な関係で一緒にチームづくりを行い、重要な試合局面においてベンチの指示を待たずにフィールド内で選手が判断ができる状況をつくりあげることが重視

オフense概要①



①アドバンテージ思考

- ・「アドバンテージ＝優位性」があるところを察知し、常に優位なところで勝負をする
- ・「絶対的優位性」と「相対的優位性」
- ・アドバンテージをつくるためにnbcが動く

②GACTION

- ・GAPにreaction（＝相手とのズレに対して効果的に動く）するという意味の日本代表の造語。
- ・ポジションにとらわれず全員がGACTIONを狙う習慣をつけることで、ブロークンシチュエーションのチャンス創出機会の最大化を図る

③良いシュートシーンをつくる

- ・6人で連動して動く。1on1タイプ、カットタイプで役割分担をする。
- ・「one more」の意識を持ち、より良いエリア・良い状態の人にパスする

オフェンス概要②



		得点状況分析			
		ブローケン	セット		FS
			カットイン	1on1	
全体	前半	4	50	28	22
	後半	17	64.1%	35.9%	
予選ラウンド	前半	4	35	15	15
	後半	10	70.0%	30.0%	
決勝ラウンド	前半	0	15	13	7
	後半	7	53.6%	46.4%	
合計		21	50	28	22
%		17.4%	64.5%		18.2%

ディフェンス概要



① ミッション

- ・ DFの守備確率を上げ、攻撃の起点を創る事でDF効率70%を目指す

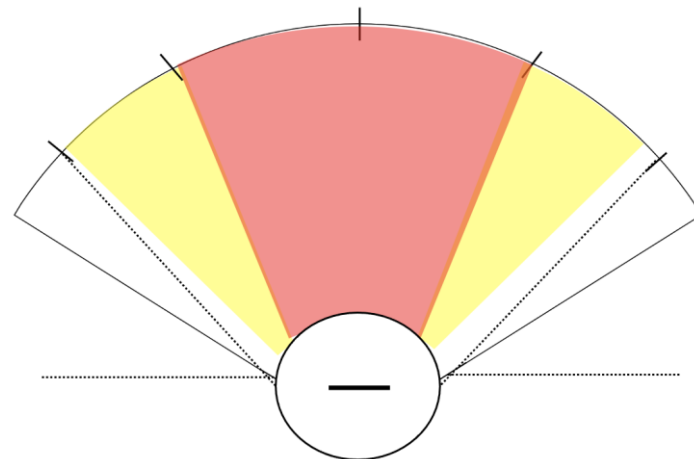
② 世界一の組織力を目指した「超連動DF」

- ・ DF 6人とゴールキーパーを合わせた7人がパックで連動し続ける事で守り奪えるDF
- ・ 守備エリア（扇）の概念の浸透を図り、人とエリアを守る

③ エリアの明確化

- ・ バイタルエリア
- ・ ピザエリア

④ 対世界を意識した取り組み



動画

トークセッション

4強の選手と比べて、
個人スキル/能力面で一番日本に足りないと思ったのはどこ？

「日本のラクロスが世界に通用したな」と思った部分は？

遠征中の食事ってどんな感じ？



これぞ「Lacrosse Makes Friends」と感じたシーンは？



USA_WLAX
投稿



usa_wlax、kaylatreanor
Johnny Unitas Stadium



いいね! : sunsyu_since1966、他18,184人

usa_wlax This is what it's all about. This is why we play the game. 🤝 ... 続きを読む



トピック⑤



代表活動中や大会期間中で一番嬉しかったことは？

日本からの応援に力をもらえたと感じたときは？



ご声援ありがとうございました！ 女子日本代表一同